

平成 28 年度 各係における教育活動重点目標

本校の主要な係で、本年度取り組みたいものとして挙げられた重点目標です。それぞれの項目について、中間、最終の自己評価を行います。その評価を、評議員へ配布しますので、学校評価シートの評価にお役立てください。

1 教務係

今年度の重点目標	
①	生徒の学力向上を目指す
②	校務が円滑に行えるように計画・立案する。
③	生徒の出席状況の把握と先行指導
④	生徒の豊かな人格形成を助ける。
⑤	入試広報係と協力しての生徒募集活動

※評価【 〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分 】

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善への反映	授業評価を実施し、授業改善に努めたか。	A	各教科ともに1学期のアンケートをもとに2学期に望んでいる。
①②	教科シラバスによる計画的授業と定期考査の工夫	計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。	A	内容の見直しはほぼ済んでいるが、生徒への反映の点で課題が残る。
①	年3回（3年は2回）の実力テストの結果を利用した学習活動への反映	結果を基に生徒に適切な指導ができたか。適切な準備後処理が出来たか。	A	予備学習帳の配布から後処理までとどこおりなくできている。
①②	授業時数の確保	年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。	A	急な変更もなく計画通りに進んでいる。
①②	試験時間割・監督の日程	計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。	A	計画通りに進行中
①②③	適切な年間計画の作成	年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。	A	計画通りに進行中
①②	学校自己評価	学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。		年度末に評価

②④	LHRの計画・設定	学年・クラス運営に効果的な計画・内容であったか。		年度末に評価
②	校内教研・テーマ学習会の立案・実施	研修結果が生徒指導に反映できるよう研修内容・講師選定・時間確保が出来たか。	A	校内教研を2回、テーマ学習会を3回計画。それぞれ計画通りに実施している。
③④	生徒の出席状況の把握と先行指導	毎日の出席状況や1/6、1/5オーバーした生徒を把握し、出席の改善が出来たか。	A	朝会での報告と指導カルテの提出で意識の喚起と指導の確実性を見込んでいる。
②	各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる	一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。	A	速やかな手続きができるようにしている。
②	奨学金主催団体への円滑な事務手続き	奨学金名簿を作製し、必要書類を適正に提出出来たか。	A	同上
①④	生徒が西高手帳を有効的に利用できるように指導する。	記入の様子を把握する。タイムマネジメント手帳の有効利用講習会の実施等。	B	利用状況アンケートを実施。結果を分析し、有効利用について研究する必要がある。
⑤	入試広報係と協力して入試業務を行う。	円滑に行えたか。(学校説明会・中学校訪問・西高キャラクターの決定)	A	計画どおりに実施している。

2 進路指導係

重点目標	今年度の目標
①	講演会やガイダンスを通してキャリア教育の推進を図り、自己理解や職業観をもとにした主体的な進路選択を支援する。
②	適切な進路情報を提供することを通して、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行う。
③	各種補習や模擬試験への取り組みを充実させ、進路実現に向けた学力の向上を図り、希望進路の実現を支援する。

※評価【〔達成度〕 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

重点目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①	三年間を見通したキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。	各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画通り実施できたか。	B	3学年は5月に、2学年は6月に各学年のガイダンスを実施済。1学年は11月に実施予定のため、準備・実施をスムーズに行う。
①	就職希望者を中心に職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。	看護体験や事業所見学の希望者に対し、趣旨や意義を事前に指導できたか。	A	担当者を中心に、希望者に対して事前指導に力を入れ、実施できた。
②	生徒の進路意識状況を定期的に把握し適切な進路情報を提供する。	生徒の進路意識に見合った進路情報が提供できたか。	A	5月の信毎ガイダンスへの参加や、提携大学のキャンパス見学会など、進路選択に役立つ情報取得ができた。
②③	生徒の成績の把握・分析を行い、職員全体で生徒の学習状況を把握できるようにする。	「FINE SYSTEM」を用いて情報を共有し、学習指導に役立てることができたか。	B	特進コースを中心に、模試データ等を活用している。進学コースについては、もう少し活用できる状態にしたい。
③	生徒の学習の場を保障することで、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。	進路実現に向けた学力向上につながる「進学補習」や「土曜補習」を実施できたか。	A	各補習において、各教科の協力を得ながら実施できている。11月末からの3年生特別編成授業においては受験対策に今後力を入れたい。

3 生徒指導係

今年度の重点目標
①制服を美しく着させる
②スマートフォンの利用ルール構築
③自転車の安全運転を徹底させる
④駅構内・電車内のマナー向上
⑤合理的配慮の検討

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

目標	評価項目	評価の観点	中間評価	実施事項と今後の課題
①制服を美しく着させる	シャツの第一ボタンまで締めさせる指導	シャツの第一ボタンを締めさせる指導を導入できたか	A	4月から実施している。2・3年生にも浸透してきた
②スマートフォン利用ルール構築	新しい西高のスタンダード構築	他係と連携し利用上のルールを設定できたか	B	学年・生徒会与連携して利用の仕方を模索中
③自転車の安全運転徹底	生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動 通学路自転車指導	運転マナーが向上したか	A	マナーは向上しているが、苦情をいただくこともあるので更に向上させたい
④駅構内・電車内マナー向上	生徒指導だよりによる啓蒙活動 列車乗車指導・駅見回り	乗車マナーが向上したか	B	年度当初に比べると苦情をいただかなくなった。乗車指導を行っていきたい
⑤合理的配慮の検討	障がいを持つ生徒への合理的配慮を生徒指導係の見地から検討する。	合理的配慮を検討できたか	C	未検討

4 生徒会

評価表

今年度の重点目標
① 生徒会本部役員のリーダーシップの下、全校が一丸となった学校づくりを進める。
② クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。
③ 他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。

※評価〔達成度〕 A：十分 B：おおむね良い C：不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	実施事項と今後の課題
①	本部役員の企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。	予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。	A	反省すべき点も多かったが、積極的にそれぞれの役割を全うしようとする姿勢を持てた。
①	太鼓の伝統を引き継ぐ。	太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。	A	部活動との両立やケガなどの問題もあったが、早期から練習に励み、役員全員で代表曲を演奏することができた。
②	委員会活動を活性化させる。	各委員会がそれぞれ活発に企画・運営し、生徒会の活性化を推進できたか。	B	個々の運営は例年同様かそれ以上だった。本部との連携をもっととることができていたらなおよかった。
②	話し合いを通して、協力体制をつくる力を身につけさせる。	生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。	A	ステージ週間での取り組みなど、例年では行えなかった討議が十分にできたこともあり、一連のプロセスを経験できた。
②	集団指導体制を通して豊かな資質を育む。	各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。	B	それぞれの集団に任せきりになっていた。本部を中心に活発な活動が実施されていくという構図を意識したい。
③	他校や地域との交流を深める。	他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにすることができたか。	B	「外部の方にも喜んでもらえる企画を」と様々な案を出し、実行できた。しかしながら、それを発信する手立てまで手を入れることができなかったため残念。HPの活用をはじめとする広報活動に力を入れたい。

5 防災整美

今年度の重点目標

①	管理箇所の点検や防災の推進を図る。
②	年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。
③	全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。
④	学習環境や地球環境の保護意識を高める

※評価（達成度） A:十分 B:おおむねよい C:不十分

重点目標	評価項目	評価の観点	中間報告	実施事項と今後の課題
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理箇所の点検・管理箇所の安全確保	A	おおむね徹底されている。校舎の老朽化による修理に関しては対応が課題になってきている。
①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施	A	避難訓練では全校生徒の避難に10分間で迅速な避難実施ができた。常に災害に対する啓発の必要がある。
②③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施（整美委員会が中心になって行う）	B	活動は定着して地域から感謝されている。新しく清掃用具を用意したので積極的な活動が必要である。
③④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画	A	整美委員の活動により分別が向上した。